

ひがししらかわ



7月1日、保育園プール開きの様子

村長室から

入道雲と青い空のコントラストが夏本番を感じさせる季節となりました。各地区で盆踊りや夏祭りが行われ、盃蘭盆で帰省の皆さんや鮎釣りのお客さままで村が一番賑やかなときです。▼さて、村の人口は毎年減少を続けておりますが、先に「日本創生会議」が発表した将来推計人口が議論を呼んでいます。それによりますとこの村の二〇四〇年の総人口は一三七八人と推定されています。これは、若年女性人口に着眼して推計されたもので、最近では「自治体消滅」の言葉だけが先行して話題になり、いたずらに危機感がおおられているような感じがします。

▼以前日本中の注目が集まった言葉に『限界集落』がありました。集落の機能が維持できなくなり、集落自体が消えてしまうという議論でした。▼本村ではそうならないための取り組みを始めています。あまり将来を悲観することなく、確実に現在できることを力を合わせてやっていく、そういう村は絶対に生き残れると信じています。実際全国的にも当時、限界集落といわれた集落は生き残っていますし、地域のつながりが強い田舎は簡単には消えないはずです。

現在、策定作業を進めています第五次総合計画もそうした思いで立案したいと考えています。▼定住人口の増加策は引き続き実施しますが、一方で都市住民とのつながりを広く深くして、村産品の販売促進や交流人口の増加をはかり、村を元気にする「つちのこむらメンバーズカード」事業を開始します。皆様のご協力をお願い申し上げます。



the most beautiful
villages
in japan

第五次総合計画

策定に向け意見を仰ぐ

第四次東白川村総合計画が平成二十六年度をもって終了することから、新たに平成二十七年度から平成三十四年度までの八年間にわたる、第五次総合計画の策定が進められています。

その一環として、第一回東白川村第五次総合計画公聴会が七月四日、はなのき別館で開かれました。公聴会では課題ごとに五つのグループに分かれ、行政関係者と有識者などからなる公聴会委員、五十七名が参加しました。

より「住みよい村」に向けて

総合計画

東白川村総合計画は、本村が策定するすべての計画の基本であり、行政運営の総合的な指針となる計画です。また、むらづくりの最上位に位置づけられる財政計画でもあり、計画的、効率的な村政運営の指針が盛り込まれます。計画内容の構成は、基本構想とこれに基づく基本計画からなります。

基本構想とは、総合計画における基本的な考えのことで、本村の目指す将来像と目標を明らかにし、計画を実現するための基本的な施策の筋書きを示す実現性のある指針です。

基本計画とは、基本構想において設定した将来目標や基本的施策を実現するために必要な手段や施策を明らかにするものです。

計画実施までの取り組み流れ

平成二十五年度に行政サービスの向上や、各施策の推進に役立てる基礎資料とするために、中学卒業以上のすべての村内在住者に対し満足度・重要度調査を行いました。この調査結果や第四次総合計画の反省をもとに第五次総合計画の原案を作成し、公聴会で参加者から意見を求めました。また、公聴会委員の位置付けは「村民の一部」であり、計画に対する意見を全村民から集められる、パブリックコメントも実施しました。

そして今後の予定は、七月下旬から八月初旬に各部門ごとで開かれた第二回の公聴会を経て計画案を再編し、議会へ提出します。

現在、第五次総合計画は策定過程にあり、全二回の公聴会やパブリックコメント、会議等を経て内容等の更なる

充実に努めます。できる限り、住民の意見を基調に協議しますが、行政方針、財源状況により、そのすべてを反映させることは難しいことから、優先順位を考慮しながら検討を進めていきます。また、議会で可決された総合計画はダイジェスト版に整理し、来年になります。全戸配布する予定です。



7月4日に開かれた第1回公聴会の様子

総合計画の目指すむらの姿(案)

自然豊かな美しいむらで

小さいながらも

人がかかやく

地域力のあるむら

ひがししらかわ

本村の将来像

「誰もが心豊かに生活できる活力にあふれた、ゆとりと潤いのあるむら」

豊かな自然や山・川の恵み、農用地などの優れた地域資源をいかした、独創性のある産業を発展させます。その中で、若者は活動的に仕事をし、子どもたちは自然の中で元気に遊び、高齢者は健康で生きがいをもって安心して暮らし、美しく快適な地域でスポーツ・文化芸術活動などが活発に行われる環境をつくりまします。

「小さいながらも、誰もがいきいきとひかりかがやいて活躍しているむら」
産業をはじめ、保健・医療・福祉、教育・文化、生活環境など、あらゆる分野で村民自らが力をあわせて、主体的にむらを創り上げることに参加し、すべての村民が、東白川に誇りと愛着を感じてもらえるような取り組みを展開します。

なお、一部の「村」を「むら」とひらがなで表記しているのは、親しみのもてる表現にするためです。

目指すむらの将来像を実現するため、主要課題を踏まえて、各分野の基本目標を定めました。

・【産業活力】
産業活動が活発な、

「にぎわい」のあるむらづくり

主な取り組み

茶園整備、集落営農への取り組み支援、中山間地域総合整備、利用間伐の推進、つちのこむらメンバーズカードの作成、商業活性化支援、つっちーのこりんによる東白川村PR推進
公聴会での意見

茶業振興会・茶商会の活動支援、佐広川ます釣場の観光化、林道の舗装、他地域産木材との差別化

・【生活環境】

安全で快適な暮らしが実感できる、

「すみよさ」のあるむらづくり

主な取り組み

平く桜峠までの調査・改良などの既設道路の整備推進、農林道の整備、CATVの光ケーブル化とセンター設備改修、水道設備機器の更新、消防ポンプの計画的更新、定住促進住宅建設
公聴会での意見

災害時の高齢者対策、単身赴任補助制度、新旧住民間の交流促進、時代に則した交通対策

・【保健福祉】

お互いに助け合い安心して暮らせる、

「やさしさ」のあるむらづくり

主な取り組み

子育て支援車両購入、新生児・子育て支援、防犯カメラの設置等の安全対策(保育園)、食育事業、高齢者の居場所づくりの提供、地域医療センター一体的再整備、不妊・不育治療助成
公聴会での意見

ボランティアコーディネーターの育成、虚弱老人に対する施策、母子健康センターでの医療事業拡大

・【教育文化】

心の豊かさが実感できる、

「ほこり」のあるむらづくり

主な取り組み

小・中学校運動場改修、中学校舎の瓦改修、公民館図書室の学習スペース整備、高校生通学支援、はなのき会館改修、村民運動会開催

公聴会での意見

地域の利を強調した学習の取り入れ、総合型地域スポーツクラブの振興、重要な文化財の紹介

※ここで紹介している「主な取り組み」と「公聴会での意見」は一部です。

加子母との伝統戦

和やかな交流のひとつ

第八回加子母・東白川村親善ペタンク大会が総合運動場で七月五日に行われました。大会には本村からは十チーム、全体で二十四チーム、約八十名が参加しました。ペタンクの交流戦の会場は、毎年交互に開催され、技と実力を比べ合う機会となっています。

結果は、東白川チームはすべて予選で敗れ、上位八位まで加子母が独占し、優勝は「上桑原^{かみくぼ}」でした。後半は天気が崩れるあいにくの天気でしたが、勝ち負けにこだわらず、両地域間で情報交換等、会話の絶えない和やかな雰囲気、健康やかに汗を流しました。



ぬかるんだグラウンドに合わせ投球する

動物被害から農地を守る

県規模で計画展開



防護効果が期待されます

七月十日と十六日に、村内初のモデルとして、鳥獣害防護柵の設置作業が西洞で行われ、住民や業者、県・村職員等が参加しました。

この日用意された五五〇メートル分の柵の材料は、県と村の補助金により準備されました。柵の高さは約二メートルあり、イノシシのみならず、従来の電気柵では防ぐことができなかったシカの被害も同時に防ぐことができます。

また今秋には、日向地内に六九〇メートル、さらに来年度は、村内全域で大規模な柵の整備を目指します。

運動は継続が大切

頭を使って体を動かします

岐阜県教育文化財団の職員を講師に招き、元気な村づくりサポーター養成講座が七月十五日、はなのき別館で開かれました。主催したのは社会福祉協議会で、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの活動を手伝えることのできる人材を育てる事を目的にし、この日は十九人が参加しました。

講座では、筋力や柔軟性など加齢に伴い衰える身体能力を紹介したうえで、それらを維持していくための運動をボールやペットボトルを用いて実施しました。

今後は、九月五日、十月三日、二十一日に講座が開かれます。



家庭でもできる手軽な運動を習いました

伝統漁法に触れる

鮎の友釣り体験



鮎を釣り上げて笑顔がこぼれる

八月二日、中川原水辺公園周辺で鮎釣りアカデミーが開催され、村内外の小中学生十人が参加しました。

主催した観光協会は、鮎釣りに親しみ、釣りの楽しさを感じてもらうことを目的に毎年開催し、講師の村内熟練釣り師八人は、鮎の習性を利用した友釣りの方法や仕掛けの組み方、釣れるポイント等を教えました。

参加者は、講師のアドバイスを受けながら「一匹釣れるとやる気が出る」と、三時間熱心に取り組み、すべての参加者が二〜五匹の釣果をあげました。昼食のバーベキューでは、釣ったばかりの鮎を塩焼きにして食べました。



発表をする中山健太郎さん(中一・下野)

七月九日、小学五年生から中学三年生までの各学年の代表者五名が、日頃考えていることや東白川について、将来の夢などを発表する、少年の主張大会がはなのき会館で行われました。発表会は、青少年の健全育成や社会の一員としての自覚を高めるために行われており、気持ちのこもった発表に、訪れた約二五〇人は耳を傾けていました。

引き続き行われたふれあいコンサートでは、小学校の音楽科講師など四名の奏者がクラシックや有名なCM曲などを演奏し会場を楽しませました。

思いを言葉に

堂々とした発表

考えて行動できるリーダー

初めての体験を通し大きく成長



協力してテントを張ります

教育委員会主催の青空友遊リーダー研修会が中学校で開かれ、子ども会のリーダーとなる小学校五、六年生、二十八人が参加しました。

この研修はリーダーとしての自主性や協調性を養うと同時に、共同作業の中で自分自身、もしくは友達と共に考え行動し、苦労や達成感を共有することを目的に行われ、レクリエーションの考案、事故を未然に防ぐ練習、夕食作り、テント泊等の活動を行いました。

経験の少ないテント張りや飯ごう炊き等、順調に作業の進まないものもありましたが、活動の各所で協力する姿が見られ、無事に全日程を終えました。

清流、白川を実感

きれいな川には多様な生物

小学四年生は総合学習として「山・川・海のつながり」を学んでおり、七月二十七日には、中川原水辺公園周辺でカワゲラウォッチングが行われました。

身近な河川の水質調査や、その保全と改善の大切さを認識してもらおうとともに、そこに生息する生物を知ることが目的に行われています。調査の結果、カワゲラのほか「きれいな水」に生息する指標生物が多数確認できました。

これまでに、学習の一環として村内の浄水場を見学し、このあとは川と海のつながりや、海の生き物について学習します。



川底の石の裏にいる生き物を探します

中学校総合体育大会結果

それぞれの舞台上で全力を尽くす



東白川小で行われたバスケットボール市郡大会では快勝を収める

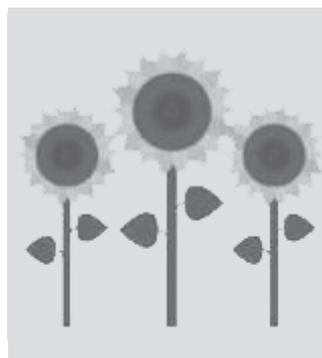
中体連は、中学生がこれまでの部活動等の練習成果を発揮する集大成となる大会で、本村中学校は七月五、六日に行われた美濃加茂市・加茂郡大会に出場し、結果は次の通りでした。

- ・剣道部(団体) 三位
- ・ソフトテニス部(団体) 準優勝
- ・バスケットボール部 優勝
- ・バレーボール部 予選敗退

さらに、この後の可茂地区大会では、バスケットボール部が準優勝し県大会へ進出。県大会では、ベスト十六にとどまり、東海大会への切符は逃しました。

また吹奏楽部は、岐阜県吹奏楽コンクール可茂東濃地区大会に出場し銀賞を獲得しました。

おしらせ



市町村くらしの情報を活用しよう

ぎふチャン（岐阜放送）テレビで放送しているデータ放送「市町村くらしの情報」内で「じゃんけんプレゼント」キャンペーン第三弾を九月三十日まで実施しています。「じゃんけんゲーム」に参加していただき、応募キーワードを獲得後はがきまたはメールで応募していただきますと、全員に粗品、さらに抽選で十二名の方に県産品のプレゼントがあります。

詳しくは、キャンペーン中の「市町村くらしの情報」またはぎふチャン公式サイトをご覧ください。

ぎふっこカードがスマートフォン等で利用できます

ぎふっこカードは、スマートフォンや携帯電話の画面に画像を表示して、紙カードと同様にお店で画面を見せて利用できるようになりました。

利用にあたっては利用登録が必要ですので、左記のQRコードまたは「岐阜子育て応援団」ウェブサイトで利用方法を確認してください。

※現在配布している紙カードのぎふっこカードは引き続きご利用いただけます。

■岐阜子育て応援団

QRコード



ツキノワグマに注意

ツキノワグマは県内のほとんどの地域で出没しています。餌の多くは植物質であるため、人を襲うことは

あまりないようですが、次のことは実施してください。

- ・野山に入るときは鈴やラジオを携帯し、人間の存在を知らせましょう。
- ・食べる予定のない柿や栗の実は埋めてしまおうか、不要な樹であれば伐採しましょう。
- ・樹の幹にトタンを巻くことで、樹に登ることを防ぎます。
- ・クマの出没しやすい畑等には電気柵等で予防しましょう。

・不用意に近づいたり、捕獲しようとしたりすると、攻撃的になるので、出会ったときは、そとその場を離れましょう。

敬老の日のアクア・トト

アクア・トトぎふでは、敬老の日の特別企画として、六十五歳以上の方を無料で招待しています。

■実施期間 九月十三日～十五日の三日間

■実施内容 右記の日程に限り六十五歳以上の方は無料で入館できます。（保険証

など、年齢を証明できるものを持参してください。）

■お問い合わせ先
世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ
TEL 0586-89-8200

知っていますが、建退共

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の方が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金が支払われるという、いわば業界全体での退職金制度です。

- 加入できる事業主 建設業を営む方
- 対象者 建設業の現場で働く人
- 掛金 月額三一〇円
- お問い合わせ先 岐阜県建退共支部
TEL 058-276-3744

御寄付

ありがとうございました ※敬称略

【東白川村】

- 文化振興 金十万円：村雲芳樹
- ふるさと思いやり基金 金二万円：匿名

- 医療・保健福祉部門 白川茶（ティーパック）：東白川村茶業振興会
- 保育園指定 清拭布：大沢婦人の会

- 保育園指定 五加大沢婦人の会
- 白川茶（ティーパック）六箱

- ：東白川村茶業振興会
- 【社会福祉協議会】
- 金十万円：安江雅信（日向）
- 金十万円：村雲芳樹（中通）
- 金三一、八七四円、一三、六
- 五三円、鮎：シマノジャパ
- ンカップ 鮎釣り大会参加者
- 白川茶：

- 東白川村茶業振興会
- 清拭布、レジ袋、洗剤二個
- ：島倉淑子（親田）
- 石けん一箱：桂川和子（日向）
- タオル、バスタオル、清拭布
- ：大沢婦人の会
- 清拭布：曲坂わかば会
- 古切手：田口昌子（平）
- 古切手：樋口美佐枝（西洞）
- 古切手：田口宮繕
- 古切手：新世紀工房
- 清拭布、古切手：匿名
- 古切手：匿名

東白川森林組合報告
第 695 回取組 (7/22)

ひのき	13cm 以下小丸太 平均単価 / 9,600 円
	14cm 以上 平均単価 / 21,200 円 高値 / 85,000 円
すぎ	平均単価 / 10,700 円 高値 / 20,000 円
赤まつ	平均単価 / 8,600 円 高値 / 11,000 円
総取扱量	547 m ³
総販売高	984 万 9 千円

■お問い合わせ先
全国共通ナビダイヤル
TEL 0570-064-794
岐阜県社会保険労務士会
TEL 058-272-2470

職場のトラブル解決をお手
伝いします

退職・解雇・未払い・長時間労働・パワハラ…。労働時間でのトラブルが急増し、裁判に発展するケースも少なくありません。
社会保険労務士会は、労働問題および個別労働関係紛争のご相談に応じています。また不幸にしてトラブルになった場合、社会保険労務士会では、事業主と個々の労働者との間の個別労働関係紛争を、裁判を起すのではなく、「あつせん」により解決を図っています。

「みどり香るまちづくり」
企画コンテスト募集

かおりの樹木・宿根草・その他の草花を三十本以上用いた、街区・近郊地区等の「みどり香るまちづくり」を演出する企画を募集します。

- ◆募集期間 十月十日まで
- ◆応募主体 地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体やNPO等の各種団体、個人など
- ・キャッチフレーズ募集

来年度の「みどり香るまちづくり」企画コンテストのチラシ等に使用するキャッチフレーズを募集します。「こんな街にしたい」「こんな香りのする街が素敵」というイメージからのキャッチフレーズも大歓迎です。

- ◆規定 企画コンテストの趣旨に合うもの
- ◆文字数 二十五字以内
- ◆応募先
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-2-1
8 西新宿浅井ビル三階
公益社団法人 におい・香
り環境協会

TEL 03-5309-2422

■お問い合わせ先

環境省水・大気環境局大気生活環境室
TEL 03-5521-8299

経営者の皆様、お悩み事を
スッキリ解決します

最低賃金の引き上げによる、大きな影響を受ける中小企業主の皆様のために、労働面と経済面のご相談について、それぞれの専門家がワンストップで無料で対応します。

- 支援内容
- ①個別相談 (電話もOK)
- ②中小企業への専門家の派遣
- ③セミナーの開催
- お問い合わせ先
中小企業経営労務相談支援センター
TEL 058-272-3028

NHK学園 生徒募集

NHK学園では、通信制の高等学校普通科及び生涯学習通信講座の生徒・受講生を募集しています。まずは、無料の案内書をご請求ください。
■募集内容 平成二十六年

度高等学校普通科生徒、生涯学習通信講座受講者

■出願期間

・高等学校普通科 (転入学) 十一月二十日まで、(後期入学) 九月三十日まで
・生涯学習通信講座 通年
申込受付

■お問い合わせ先

NHK学園
TEL 042-572-3151
案内書請求フリーダイヤル
TEL 0120-06-8881

個人で事業を行っている方
の帳簿の記載・記録の保存

平成二十六年一月から、事業所得、不動産所得または森林所得を生ずべき業務を行うすべての方は、基調と帳簿の保存が必要です。
なお、この基調・帳簿等の保存制度につきましては、所得税及び復興特別所得税の申告が必要ない方も対象となります。
詳細は、国税庁ホームページ [http://nta.go.jp] をご覧いただくか、最寄りの税務署へお問い合わせください。
■関税務署
TEL 0575-22-2233

9月

日	曜日	加茂医師会 午前9時～午後5時
7	日	木沢記念病院 (美濃加茂市 / 25-2181)
14	日	太田メディカルクリニック (美濃加茂市 / 26-2220)
15	月 (祝)	小林クリニック (坂祝町 / 25-8077)
21	日	みのかも西クリニック (美濃加茂市 / 28-5310)
23	火 (祝)	西田醫院 (美濃加茂市 / 28-3371)
28	日	木沢記念病院 (診察室) (美濃加茂市 / 25-2181)

下呂市立休日診療所

■診療日時
毎週日曜日・祝日
午前9時～午後3時
■所在地
下呂市森 801-10
下呂市民会館1階
TEL 0576-24-1200
※原則として
内科・小児科の急病患者

近隣の休日診療情報



情報ボックス

案内

清流の国ぎふ
秋のスポーツフェア

9月21日(日)から11月9日(日)まで、スポーツイベントを多数開催。10月4日(土)、5日(日)には、岐阜メモリアルセンターでスポーツ教室(要申込)、軽スポーツ体験イベント(申込不要)を開催。※いずれも無料。詳しくはウェブサイトを確認

●問/県スポーツ推進課 ☎058(272)1836

清流の国ぎふ 秋のスポーツフェア

検索

案内

U・Iターン合同企業説明会
in 東京・大阪・京都

県内企業と出会うチャンスです。保護者の皆さま、県外の大学等に進学しているお子様にお知らせください。※申込不要・無料

- とき・ところ/10月9日(木)メルバルク京都(京都)、24日(金)梅田センタービル(大阪)、28日(火)東京国際フォーラム(東京)いずれも 13:00~16:00
- 対象/U・Iターン就職を希望する2015年3月卒業予定の学生・若年求職者
- 問/岐阜県総合人材チャレンジセンター(本所) ☎058(278)1149

案内

オータムジャンボ宝くじの
購入は県内で!

県内で購入していただいた宝くじの販売額のうち、約40%が県の収入となり、市町村振興

や高齢化・少子化対策など、身近なところで役立てられています。県内での宝くじ購入にご協力ください。

- 発売期間/9月19日(金)~10月10日(金)
- 問/県財政課 ☎058(272)1130

案内

木造住宅無料耐震診断を
受けましょう

県内全市町村において、昭和56年5月31日以前に着工し建築された木造住宅を対象とした無料耐震診断を実施しています。

- 申込方法/お住まいの市町村の耐震担当課へ申し込み
- 問/お住まいの市町村耐震担当課または県建築指導課 ☎058(272)8691

募集

ひきこもり講座

ひきこもりへの理解を深めるための講演会を開催します。※要申込・無料

- とき・ところ/10月24日(金) 13:30~16:30 岐阜県図書館(岐阜市)
- 定員/150名(先着順)
- 申込方法/10月17日(金)までに電話またはFAX(氏名、電話番号を記載)で申込み。
- 申込先・問/県精神保健福祉センター ☎058(273)1111(内2253) FAX 058(275)5097

相談

シングルパパを応援します

- 内容/平成26年10月から福祉資金貸付金

の対象が父子家庭まで拡充されます。ほかにもさまざまなサポートを受けることができます。まずはお気軽にご相談ください。

- 相談先/お住まいの市の母子福祉担当課、町村在住の方は県振興局(事務所)
- 問/県子ども家庭課 ☎058(272)8326

相談

難病医療電話相談

専門医による電話相談を開催します。※要申込・無料

- とき・相談内容/◇10月10日(金)強皮症、天疱瘡など皮膚の疾患◇11月5日(水)パーキンソン病、てんかんなど神経内科の疾患
- 申込方法/前日までに申込先に電話・FAX
- 申込先・問/難病生きがいサポートセンター ☎・FAX 058(214)8733

相談

多重債務無料相談会

法律専門家が相談(面接・電話)に応じます。※面接は要申込

- とき・ところ/いずれも13:00~16:00◇10月11日(土)県民生活相談センター(岐阜市)※電話相談も実施。時間内に申込先に電話。◇11月14日(金)可茂総合庁舎(美濃加茂市)
- 定員(面接)/各6名(先着順)
- 申込方法(面接)/前日までに申込先に電話
- 申込先・問/県民生活相談センター ☎058(277)1003

8ch ボタンで 県広報 毎週木曜日更新

俳句

釣竿の 捌きが光る 極暑かな 安倍栄香

五箇山の 昔偲ぶ 梅雨の旅 村雲とも子

紫陽花の 色あざやかな 雨上り 村雲とみ子

吊橋に るて鮎釣り と 目が合ひぬ 安江とくよ

鼻唄や トマト採る手も 軽やかに 安倍富子

梅雨晴間 寝そべる犬の 大あくび 村雲春子




こんな自然が残る東白川村をいつまでも守りたいと気持ち新たにになりました。(I)

慌てて、連絡頂いた大口の古田伸幸さん宅に行き話を聞くと、古田さんも見るのが初めてだとか。発見場所に案内してもらった「あった」。ソフトボールほどの卵塊が葉っぱにくっついていてはテレビで見た様子そのままでした。

ひよこ

七月七日に「モリアオガエルの卵を見つけたので写真を撮りにこんか」と電話を頂きました。

人口の動き

世帯数	868世帯
人口	2,534人
(男)	1,221人
(女)	1,313人
転入	1人
転出	0人
出生	1人
死亡	3人

先月との比較1人減
昨年との比較55人減

7月末住民登録人口から

※敬称略